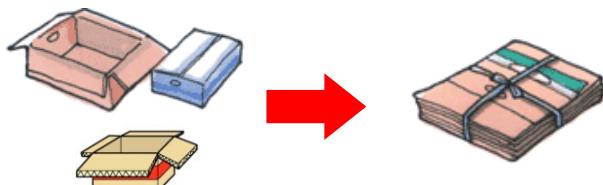


処理の方法

- ・各品目ごとにビニールひもなどで束ねてください。
- ・ダンボール箱は、つぶして束ねてください。
- ・ダンボール、新聞紙、雑誌をダンボール箱に詰めて出さないでください。
- ・雨天の場合、ビニール袋に入れるなどのご配慮をお願いします。

対象となるもの

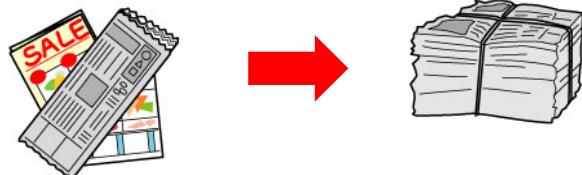
ダンボール



つぶして束ねてください。
ダンボールについているガムテープを
はがす必要はありません。

新聞紙類

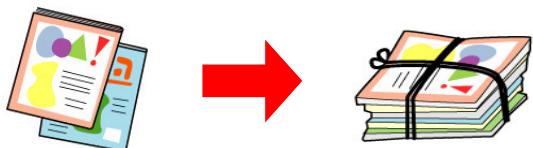
新聞紙、折り込み広告



束ねてください。

雑誌・書籍類

雑誌、教科書・ノート、書籍、メモ用紙など



束ねてください。

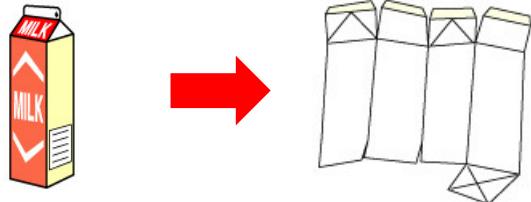
下記の条件にすべて該当する紙

- 「文字が書ける程度の丈夫なもの」
- 「ハガキ程度の大きさ以上のもの」
- 「束ねることができるもの」

- ・飛散してしまうようなものは「可燃ごみ」として出してください。
- ・プライバシー、個人情報等の分かるものは安全のため「可燃ごみ」としましょう。
- ・カーボン紙、写真、感熱紙はリサイクルできないため「可燃ごみ」としてください。

紙パック

牛乳パック、ジュースの紙パック



切り開いて、洗って乾かしてから出してください。

紙パックでも裏がアルミでコーティングされているもの（裏が銀色のもの）は、「可燃ごみ」として出してください。

古紙類は、環境教育の一環としてなるべくPTA等の実施する資源ごみ集団回収（廃品回収）に出しましょう。